

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (3), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2019, 2020, and 2021.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 目標達成.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, 縮小) and a space for improvement strategies.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (4), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend at the top.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	7	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	---	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	在住外国人支援事業	実施計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	②部課名	企画財政部・企画課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人 (換算人数)	0.19人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 3,126千円 (うち人件費 1,672千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	43201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	第三次国際化推進基本方針
(2) 目的	施策目的・展開方向	外国人市民や帰国児童生徒が安心して日常生活を送れるよう、相談窓口や外国語での情報提供の充実、外国人向け日本語講座等による日本語能力の向上などを図ります。また、外国人市民が地域活動に参加できるよう、行政や自治会などの活動情報を提供していきます。			事業目的	在住外国人が快適に日常生活を送れるよう支援を行う。				
(3) 事業内容	内容	地域の国際化や外国人も暮らしやすいまちの実現に向けて活動している我孫子市国際交流協会 (AIRA) に、外国人のために必要な支援業務を委託する。 ・日本語教室の開催業務 ・窓口や電話で市内に在住・在勤・在学の外国人からの相談を受ける外国人相談窓口業務 ・通訳の派遣を行う外国語通訳派遣業務 ・簡易文書の翻訳を行う翻訳業務			当該年度執行計画	4月～3月 ・外国人のための日本語教室 (火曜日に34回、土曜日に34回実施) 4月～3月 (随時) ・外国人相談窓口業務・外国語通訳派遣業務・簡易文書翻訳業務				
		当該年度活動結果指標	外国人のための日本語教室開催数	単位	回	想定値	68	実績値		
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	委託事業を実施することにより、外国人市民が安心して日常生活を送れるようになる。			間接	外国人のための日本語教室開催数	回	68	68		
令和2年度	委託事業を実施することにより、外国人市民が安心して日常生活を送れるようになっている。			間接	外国人のための日本語教室開催数	回		68		
令和3年度	委託事業を実施することにより、外国人市民が安心して日常生活を送れるようになっている。			間接	外国人のための日本語教室開催数	回		68		
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
(8) 施行事項	実施内容費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			在住外国人支援業務委託 (日本語教室託児ボランティア スタッフ傷害保険料98千円含む)	1,454		在住外国人支援業務委託 (日本語教室託児ボランティア スタッフ傷害保険料98千円含む)	1,454		在住外国人支援業務委託 (日本語教室託児ボランティア スタッフ傷害保険料98千円含む)	1,454
		予算(決算)額	合計	1,454	予算(決算)額	合計	1,454	予算(決算)額	合計	1,454
		国庫支出金	補助率 0%	0	国庫支出金	補助率 0%	0	国庫支出金	補助率 0%	0
県支出金	補助率 0%	0	県支出金	補助率 0%	0	県支出金	補助率 0%	0		
起債	充当率 0%	0	起債	充当率 0%	0	起債	充当率 0%	0		
一般財源		1,454	一般財源		1,454	一般財源		1,454		
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
換算人数(人)		0.17	換算人数(人)		0.19	換算人数(人)		0.22		
正職員人件費		1,496	正職員人件費		1,672	正職員人件費		1,936		
嘱託職員報酬額		0	嘱託職員報酬額		0	嘱託職員報酬額		0		
臨時職員賃金額		0	臨時職員賃金額		0	臨時職員賃金額		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,950	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		3,126	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		3,390		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		42.14千円/回	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		45.97千円/回	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	外国人市民が増えている中、母国語による情報提供や日本語能力の向上など、外国人市民が安心して日常生活を送れるような支援が必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他		日本語教室のボランティア講師や、小さな子供を持つ受講者のための託児ボランティアは、すべて市民が担っている。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他		該当なし				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (回)	目標値 (b) (回)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成			○要 ○不要	
	68	68	<input type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (回)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			○要 ○不要
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	<想定どおり削減できなかった原因>			○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			○要 ○不要
	2.18		単位	費用単位	実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (8), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項 (費用), (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?, (4) 環境に配慮して事業を進めているか?, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫をしているか?, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	9	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	---	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	常磐線の利便性向上	実施計画への位置づけ	○有 ●無	②部課名	企画財政部・企画課						
	③事業主体	○市 ●その他（松戸市・柏市・我孫子市・取手市）		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人（換算人数）	0.42人							
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円	当該（開始）年度	（当初）	6,180千円	（うち人件費）	3,696千円					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無	部門別計画への位置づけ	（計画名）				
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、重要な公共交通機関であるJR成田線の増発やJR常磐線の特別快速の我孫子駅停車、快速電車の削減ダイヤの復元、東京駅乗り入れ枠の拡大と東海道線との相互直通運転などをJR東日本に働きかけ、鉄道の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。			事業目的	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、重要な公共交通機関であるJR常磐線の輸送力の強化と利便性の向上を図る。							
(3) 事業内容	内容	我孫子市が構成団体となっている成田線活性化推進協議会や千葉県JR複線化等促進期成同盟において、常磐線の利便性向上に向けた取り組みを進める。JR東日本に対しては、常磐線特別快速の我孫子駅停車の実現や品川以南の東海道線との直通運転の実現、臨時特急「踊り子号」の運行継続などについて要望していく。また、松戸市・柏市・取手市などの沿線自治体とJR東京支社長との意見交換を行う。			当該年度執行計画	JR東日本への要望活動（常磐線特別快速の我孫子駅停車、品川以南の東海道線との直通運転の実現などを要望） ・7月～11月 成田線活性化推進協議会、千葉県JR複線化等促進期成同盟などにおいて、JR東日本に対する要望活動を実施する。 ・天王台駅周辺の市有地について、過去の協定に基づいた土地の整理・譲渡に向け、JR東日本と協議し、必要な手続を進める。							
		当該年度活動結果指標	JR東日本への働きかけ回数	単位	回	想定値	3	実績値					
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	通勤・通学者の利便性向上を図る。			直接	要望事業数		項目	3	3				
令和2年度	通勤・通学者の利便性向上が図られている。			直接	要望実績率（要望事業数/要望予定事業数）		%		100				
令和3年度	通勤・通学者の利便性向上が図られている。			直接	要望実績率（要望事業数/要望予定事業数）		%		100				
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
		JR東日本への働きかけ * 天王台周辺土地の分筆		2,100	JR東日本への働きかけ * 天王台駅施設移転負担金		2,484	JR東日本への働きかけ		0	JR東日本への働きかけ		0
		予算(決算)額	合計	2,100	合計	2,484	合計	0	合計	0			
		補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0				
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0				
一般財源		2,100		2,484		0		0					
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0					
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.4		0.4		0.4		0.4					
正職員人件費		3,520		3,696		3,520		3,520					
嘱託職員報酬額		0		0		0		0					
臨時職員賃金額		0		0		0		0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		5,620		6,180		3,520		3,520					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		1,873.33千円/回		2,060千円/回									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））					改善検討	
	常磐線特別快速は速達サービスを主眼に運行されており、品川～土浦間の19駅のうち、我孫子駅・天王台駅を含む4駅のみ停車していない。また、常磐線は上野東京ラインに直通し、平成29年には乗り入れ本数も拡大されたが、品川以南の東海道線との相互直通運転は実現していない。これらの課題を解決し、常磐線利用者の利便性が向上するためには、JR東日本に対し、粘り強く要望活動を続けていく必要がある。また、天王台駅周辺の市有地の取り扱いについては、過去の経緯や現況を踏まえてJR東日本と協議を重ね、解決にむけた手続を進める必要がある。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ○不要	
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他									
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）					改善検討	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし			参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>					○要 ○不要	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			実施した具体的な内容					改善検討	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし			環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(項目)	目標値(b)(項目)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成			
	3	3	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(項目) 達成率(%) (f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 ■⑦その他	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0		単位	費用単位	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (11), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown by fiscal year.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充) and a space for comments.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (12), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (□政策 □経常 ■なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes a progress status row (○現状どおり推進, etc.)

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	13	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 庁議	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	企画財政部・企画課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.45人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	4,392千円 (うち人件費 3,960千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	83101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		
(2) 目的	施策目的・展開方向	基本構想や基本計画に基づく総合的・計画的な行政運営を行うため、各種計画や部門間との調整を図り、施策の重点化や総合性・統一性を確保するとともに、財政計画と整合した、より効果的で効率的な実施計画を策定します。また、総合的な調整機能により部門横断的な行政課題に的確に対応します。			事業目的	行政運営の基本方針や重要施策、条例などの重要事項の決定や、各部局間相互の総合調整を図るため。				
(3) 事業内容	内容	行政運営の基本方針や重要施策、条例などの重要事項の決定や、各部局間相互の総合調整を図るため、市長、副市長、教育長、水道事業管理者と各部局長で構成する庁議を開催する。原則として、議会のある月を除いて毎月2回開催し、庁議終了後は、報告書を作成し、市のホームページに掲載する。また、庁議の円滑な運営を図るため、庁議開催前に、市長、副市長、総務部長、企画財政部長で構成する庁議調整会議を開催して、庁議付議事項の内容について調整する。			当該年度執行計画	庁議開催予定日：毎月1日、15日（議会開催月除く） 庁議調整会議開催予定日：庁議開催日の1週間前				
		当該年度活動結果指標	指標種類	指標	単位	回	想定値	実績値	15	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	議題についての連絡調整を行う。			直接	連絡調整率 (連絡調整された議題数/連絡調整を必要とする議題数)		%	100	100	
令和2年度	議題についての連絡調整を行う。			直接	連絡調整率 (連絡調整された議題数/連絡調整を必要とする議題数)		%		100	
令和3年度	議題についての連絡調整を行う。			直接	連絡調整率 (連絡調整された議題数/連絡調整を必要とする議題数)		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			庁議の開催・運営 議事概要の作成	0		庁議の開催・運営 議事概要の作成	0		庁議の開催・運営 議事概要の作成	0
				19		2号嘱託職員人件費 2,596千円×0.166	432		2号嘱託職員人件費 2,596千円×0.166	432
		予算(決算)額	合計	19	合計	432	合計	432	合計	432
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源		19		432		432		432	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.5		0.45		0.5		0.5	
	正職員人件費		4,400		3,960		4,400		4,400	
	嘱託職員報酬額		0		432		432		432	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			4,419		4,392		4,832		4,832	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			294.6千円/回		292.8千円/回					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
	行政運営の基本方針や重要施策、条例などの重要事項の決定について、部局間の情報共有や調整を図りながら決定していくために必要な事業である。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○市実施の具体的な内容・必要性の理由 ○要 ○不要		
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他									
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 市役所内での様々な事項に係る意思決定及び情報共有するための会議の運営であることから、市民の参画は難しい。							参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点			取組む内容				実施した具体的な内容		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 会議の運営であることから、該当しない。							環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック				達成状況	○①目標達成 ○②目標未達成		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である				実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)		
								<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策				実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託				実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100		
	4,392	27	<削減の内容> 会議概要作成のための筆耕翻訳料について、これまで予算計上していたが、担当職員で対応し、事業費を削減する。				<超過理由等>		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
事業費削減率(%)										
0.61										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法				達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	
	2.28		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費				実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100		
							<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (14), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (15), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応, ⑧施行事項, ⑨財源内訳, ⑩人件費等.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (16), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Contains criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (21), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sub-sections for (1) 事業が今必要である理由, (2) 市が実施する必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定, (6) 効率性, and (7) 目標値の実現.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns for 評価, 現状どおり推進, 評価コメント, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (24), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2019, 2020, and 2021.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充) and a field for 評価コメント (Evaluation Comments).

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	25	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	東葛広域行政連絡協議会		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	企画財政部・企画課					
	③事業主体	○市 ●その他（松戸市・柏市・野田市・流山市・鎌ヶ谷市・我孫子市）			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人（換算人数）		0.21人						
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	1,898千円（うち人件費 1,848千円）							
	⑧施策の位置づけ	施策コード	84002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ（計画名）					
(2) 目的	施策目的・展開方向	手賀沼の浄化、ごみ処理、消防、医療、防災、観光振興、公共交通の利便性向上などの広域的な課題に対応するため、近隣自治体や関係機関、周辺住民との連携を強化します。また、東葛中部地区総合開発事務組合が運営しているウイングホール柏斎場の効率的な運営を促進します。また、平成26年4月から指定管理者			事業目的	東葛6市（松戸市・柏市・野田市・流山市・鎌ヶ谷市・我孫子市）の共通課題、広域的な課題に対応し、市民サービスの向上と効率的・効果的な行政運営を進める。								
(3) 事業内容	内容	東葛6市の広域的な共通課題を確認し、その解決に向けた取り組みの検討を行う。 ①広域行政の充実に関する要請への対応 ②広域連携に係る計画等の検討 ③6市のまちづくりについての情報交換			当該年度執行計画	随時 幹事会（年3回程度）、行政懇談会（県議、国会議員）、行政視察 随時 東葛6市中堅職員検討会（年4回程度）、視察（年1回、必要に応じて） 5月 総会（書面協議） 10～11月 東葛広域行政連絡協議会研修会又は視察								
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	回	想定値	8			
当該年度	東葛6市の広域的な共通課題の解決に向けた取り組みを行うことで、効率的、効果的なまちづくりを進める。				直接	課題への取り組み数		件		実績値	1			
令和2年度	東葛6市の広域的な共通課題の解決に向けた取り組みを行うことで、効率的、効果的なまちづくりを進められている。				直接	課題への取り組み数		件			1			
令和3年度	東葛6市の広域的な共通課題の解決に向けた取り組みを行うことで、効率的、効果的なまちづくりを進められている。				直接	課題への取り組み数		件			1			
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	平成30年度		平成31年度				令和2年度		令和3年度					
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		負担金	50		負担金	50				負担金	50		負担金	50
	予算(決算)額	合計	50	合計	50	合計	50	合計	50	合計	50			
	(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
	一般財源		50		50		50		50		50			
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.3		0.21		0.37		0.37		0.37			
	正職員人件費		2,640		1,848		3,256		3,256		3,256			
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		0			
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,690		1,898		3,306		3,306		3,306			
(11) 単位費用	事業費/活動結果指標		336.25千円/回		237.25千円/回		336.25千円/回		237.25千円/回					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	行政区域を超えた市民の生活圏の拡大、少子高齢化や厳しい財政状況の中で、近隣市が連携して、共通課題の解決や広域的な課題に対応することで、市民サービスの向上と効率的、効果的な行政運営をしていく必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 東葛地域の6市が広域的な課題を抽出し、その課題の解決のために協議・調整を行う組織であり、市民の参加はない。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし		該当なし				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	1	1	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f)(件)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.05	単位 費用単位 件 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	27	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	JOBANアートライン協議会		実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	企画財政部・企画課	
	③事業主体	<input type="radio"/> 市 <input checked="" type="radio"/> その他（常磐線沿線自治体等10団体）			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市				
	⑤事業期間	平成18年度～			⑥担当職員数	4人（換算人数） 0.19人				
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	2,072千円（うち人件費 1,672千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	84002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2) 目的	施策目的・展開方向	手賀沼の浄化、ごみ処理、消防、医療、防災、観光振興、公共交通の利便性向上などの広域的な課題に対応するため、近隣自治体や関係機関、周辺住民との連携を強化します。また、東葛中部地区総合開発事務組合が運営しているウイングホール柏斎場の効率的な運営を促進します。また、平成26年4月から指定管理者台東区、荒川区、足立区、葛飾区、松戸市、柏市、我孫子市、取手市、東京芸術大学、東日本旅客鉄道株式会社等の10団体で協議会を構成する本協議会で次の事業を行う。 ①JR常磐線沿線地域の活性化についての調査・研究 ②JR常磐線沿線地域の活性化を図るイベント等の普及・啓発 ③資料の収集及び情報交換の実施 ④目的達成のために必要な協議			事業目的	アートを基調として、常磐線沿線のイメージアップと沿線自治体の活性化などを図る。				
(3) 事業内容	内容	台東区、荒川区、足立区、葛飾区、松戸市、柏市、我孫子市、取手市、東京芸術大学、JR東日本東京支社の10団体で構成する協議会を構成する本協議会で次の事業を行う。 ・沿線活性化にむけ全構成団体が連携して行う共同事業（スタンプラリー等）の開催			当該年度執行計画	台東区、荒川区、足立区、葛飾区、松戸市、柏市、我孫子市、取手市、東京芸術大学、JR東日本東京支社の10団体で構成する協議会を構成する本協議会で次の事業を行う。 ・沿線活性化にむけ全構成団体が連携して行う共同事業（スタンプラリー等）の開催				
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				当該年度活動結果指標	我孫子市内でのイベント等の開催回数	単位	回	想定値	1
(5) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	常磐線沿線のイメージアップを図る。				間接	イベント等の開催回数	件	1	1	
令和2年度	常磐線沿線のイメージアップが図られている。				間接	イベント等の開催回数	件		2	
令和3年度	常磐線沿線のイメージアップが図られている。				間接	イベント等の開催回数	件		2	
(7) 事業実施上の課題と対応	常磐線沿線のイメージアップを図るため、JR東日本や東京芸術大学、沿線自治体と連携を密にし事業を展開していく必要がある。				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無				
(8) 施行事項	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		負担金 特別負担金	50 350		負担金 特別負担金	50 350		負担金 特別負担金	50 350	
	予算(決算)額	合計	400	合計	400	合計	400	合計	50	
	(9) 財源内訳	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.28	換算人数(人)	0.19	換算人数(人)	0.2	換算人数(人)	0.2		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,864		2,072		2,160		1,810		
(11) 単位費用	2,864千円/回		2,072千円/回		2,160千円/回					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	事前評価			事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
	参加・協働の工夫	事前評価			事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	事前評価			事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
	(1) 目標設定は適切か？	事前評価			事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
効率性	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事前評価			事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	事前評価			事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
	達成状況	事前評価			事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1447), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown table.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend at the top.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (1539), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (1840), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進) and a space for comments.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1978	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	新たな文化交流拠点施設整備の検討		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	企画財政部・企画課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	平成28年度 ~ 令和2年度			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.31人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	3,162千円 (うち人件費 2,728千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	53101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無		部門別計画への位置づけ	(計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民の自主的な文化芸術活動を促進するため、共催・後援事業の拡充を図ります。また、活動や発表の場を提供するため、既存施設の効率的利用を一層進めるとともに、さまざまな整備手法を検討しながら、文化を中心としたさまざまな交流やにぎわいを生み出す文化交流拠点施設の整備に取り組みます。			事業目的	市民会館に代わる新たな文化交流拠点施設の整備に取り組み、文化芸術活動を支援する。								
(3) 事業内容	内容	新たな文化交流拠点施設の整備に向けて、平成31年春にとりまとめた「我孫子市文化交流拠点施設 建設構想(案)」を市民や議会に示し、建設の是非を含めて広く意見を聴いていく。			当該年度執行計画	5月下旬～6月上旬 「建設構想(案)」の提示 6月中旬～ さまざまな機会を通じて、「建設構想(案)」に対して、幅広く意見を聴く								
		当該年度活動結果指標	市民に検討した内容を示す機会の回数		単位	回	想定値	1						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	「建設構想(案)」がたたき台となり、文化交流拠点施設の整備に関する議論が深化している。				間接	「建設構想」策定の進捗率		%	10	15				
令和2年度	「建設構想(案)」がたたき台となり、文化交流拠点施設の整備に関する議論が深化している。				間接	「建設構想」策定の進捗率		%		30				
令和3年度	「建設構想(案)」がたたき台となり、文化交流拠点施設の整備に関する議論が深化している。				間接	「建設構想」策定の進捗率		%		40				
(7) 事業実施上の課題と対応	文化交流拠点施設の整備について、導入を期待する機能や規模、建設支持や反対など、さまざまな意見がある。そのため、「建設構想(案)」をたたき台として、さらに幅広く意見を聴いていく必要がある。				代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		*	庁内検討委員会の開催	0	*	「建設構想(案)」の提示 「建設構想(案)」をたたき台とした議論の深化	0		*	前年度の状況をふまえて検討	0	*	前年度の状況をふまえて検討	0
		*	市民等の意向の確認	0										
			2号嘱託職員人件費 2,607千円×0.27	700		2号嘱託職員人件費 2,596千円×0.167	434				2号嘱託職員人件費 2,596千円×0.167	434		
予算(決算)額		合計		合計		合計		合計		合計		合計		
		700		434		434		434		434		434		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源			700			434			434			434	
その他の財源		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		
		0		0		0		0		0		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.35		0.31		0.35		0.35		0.35		0.35		
	正職員人件費	3,080		2,728		3,080		3,080		3,080		3,080		
	嘱託職員報酬額	700		434		434		434		434		434		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		3,780		3,162		3,514		3,514		3,514		3,514		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		3,780千円/回		3,162千円/回										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	文化施設の建設は、多くの市民の方々から望まれており、議会においても「市民会館早期再建に関する要請について」の陳情が採択されていることなどから、建設を前提に検討する必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		とりまとめた「建設構想(案)」をもとに、建設の是非を含めて広く市民の意見を聞いていく。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	10	15	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	(f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100		○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	○要 ○不要
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
16.35									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	0.47	単位 費用単位 %	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1981), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2022), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2019, 2020, and 2021.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend and a space for comments and improvement strategies.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	2052	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)																
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	成田空港活用協議会への参画		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	企画財政部・企画課							
	③事業主体	○市 ●その他（県内146団体が組織する成田空港活用協議会）			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市										
	⑤事業期間	平成25年度～			⑥担当職員数	2人（換算人数）		0.02人								
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	226千円（うち人件費176千円）									
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	（計画名）						
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、重要な公共交通機関であるJR成田線の増発やJR常磐線の特別快速の我孫子駅停車、快速電車の削減ダイヤの復元、東京駅乗り入れ枠の拡大と東海道線との相互直通運転などをJR東日本に働きかけ、鉄道の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。			事業目的	成田空港を活用して千葉県経済を活性化するために官民が連携して設立された「成田空港活用協議会」を通して、成田線沿線の観光振興策の促進や重要な公共交通機関であるJR成田線の増発などの利便性向上を図る。										
(3) 事業内容	内容	空港利用者の利便性向上やLCCの利用促進、観光振興、交通アクセスの充実などの戦略を実現していくため千葉県、成田市及び県内企業等が発起人となり平成25年7月に成田空港活用協議会を設立した。我孫子市もこの協議会に参画し、鉄道の充実について、成田線の重要性を協議会の中で検討していただき、沿線の活性化につなげていく。また、成田空港の発着回数の増加などに合わせた、成田線の増発などの輸送力の増強については、引き続き千葉県や沿線自治体と連携しながらJR東日本に働きかけていく。			当該年度執行計画	随時：協議会担当者会議、協議会イベントへの参画 5月：総会、セミナーへの参加										
		当該年度活動結果指標	会議等への参加回数	単位	回	想定値	3	実績値								
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値						
当該年度	成田線沿線の活性化につながる事業の提案を行う。				直接	事業の提案数		案	1	1						
令和2年度	成田線沿線の活性化につながる事業が展開されている。				直接	活性化につながる事業の進捗率		%		100						
令和3年度	成田線沿線の活性化につながる事業が展開されている。				直接	活性化につながる事業の進捗率		%		100						
(7) 事業実施上の課題と対応	成田空港活用協議会の活動は、圏央道や国内線・国外線の活用を促進する取組みが主となっている。協議会が行うPRイベントの際に成田線に関するPRも行うよう協議会事務局に働きかけているが、その効果測定は難しい。				代替案検討	○有 ●無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度								
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
			成田空港活用協議会負担金	50		成田空港活用協議会負担金	50				成田空港活用協議会負担金	50			成田空港活用協議会負担金	50
		予算(決算)額	合計	50	合計	50	合計	50	合計	50	合計	50				
		補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0				
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0				
一般財源		50		50		50		50		50		50				
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0						
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.11		0.02		0.03		0.03								
正職員人件費		968		176		264		264								
嘱託職員報酬額		0		0		0		0								
臨時職員賃金額		0		0		0		0								
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		1,018		226		314		314								
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）		339.33千円/回		75.33千円/回												

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	成田空港の年間発着容量30万回化に向けた施設整備などによる発着回数の増加と2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたインパウンドの拡大に伴い、人口集積地域である千葉県北西部からの旅客需要も大きく増加することが見込まれており、この機を捉えて成田線の増発などの輸送力強化に取り組んでいく必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		○①自然環境を生かしている ○②生き物と共存している ○③手賀沼を意識している ○④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(案)	目標値(b)(案)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	1	1	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f)(案)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>	○要 ○不要	
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	○①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 ■⑦その他		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	226	792	<削減の内容> 実際の事務に係る仕事量を検証し、事務事業にかかる人工を見直す		<超過理由等>				○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	0		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100			○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2136), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	2169	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	企画財政部・企画課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成29年度 ~ 令和2年度			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.19人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	2,104千円 (うち人件費 1,672千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	43101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民や子どもたちの国際性を育むため、国際性豊かなイベントや地域での体験イベント、国際交流団体などが実施する講座、展示会などにより、外国の文化や習慣など、国際理解を深めるための情報を提供します。			事業目的	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、事前キャンプ誘致をはじめとした外国人の受入れ環境の整備を行い、大会期間中に来市する国内外からの大会関係者や選手、観客をサポートできるよう、都市ボランティア意識の向上を図りながら、市民の障害者に対する理解や国際理解を図る。					
(3) 事業内容	内容	・我孫子市を含む千葉県内の被災地を聖火リレーのルートとするよう要望活動の実施 ・オリンピック・パラリンピックに向けた関連情報の収集・発信と市民の参加意識の醸成 ・オリンピック・パラリンピックに向けた取組について、庁内関係課や関連団体との調整を図る			当該年度執行計画	・事前キャンプ誘致への取り組み(通年) ・2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた庁内関係課や関連団体との調整(通年) ・聖火リレーへの対応(ルートは2019年夏に組織委員会が発表する。ルートに選定された場合は、県等と連携して準備を進める)					
		当該年度活動結果指標	東京2020大会に関する庁内調整会議		単位	回	想定値	1			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運が醸成されている。				間接	受け入れ態勢整備の進捗状況		%	0	40	
令和2年度	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運が醸成されている。				間接	受け入れ態勢整備の進捗状況		%		100	
令和3年度					間接			%		0	
(7) 事業実施上の課題と対応	それぞれの取組については、市教育委員会(文化・スポーツ課)と情報共有しながら、千葉県や千葉県スポーツコンシェルジュとの連携をより密にしていける必要がある。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	
		■第16回世界女子ソフトボール ・関係団体や庁内関係課との調整 ・事前キャンプの受け入れ ■2020東京オリ・パラ ・関係団体や庁内関係課との調整 ・聖火リレー招致に向けた要望 2号嘱託職員 (2,607千円×0.27)	0	■2020東京オリ・パラ ・関係団体や庁内関係課との調整 ・聖火リレールート正式発表の内容に基づく対応 2号嘱託職員人件費 2,596千円×0.166	0	432	■2020東京オリ・パラ ・関係団体や庁内関係課との調整 ・事前キャンプの受け入れ ・聖火リレーの実施 2号嘱託職員人件費 2,596千円×0.166	0	432		
		合計	700	合計	432	合計	432	合計	0		
		予算(決算)額	700	予算(決算)額	432	予算(決算)額	432	予算(決算)額	0		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%		
	一般財源		700		432		432		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.17	換算人数(人)	0.19	換算人数(人)	0.3	換算人数(人)	0			
	正職員人件費	1,496	正職員人件費	1,672	正職員人件費	2,640	正職員人件費	0			
	嘱託職員報酬額	700	嘱託職員報酬額	432	嘱託職員報酬額	432	嘱託職員報酬額	0			
	臨時職員賃金	0	臨時職員賃金	0	臨時職員賃金	0	臨時職員賃金	0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,196	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,104	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	3,072	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	0				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	2,196千円/回		2,104千円/回								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	2020(平成32)年には東京オリンピック・パラリンピックが開催される。オリンピック聖火リレーを通じて、布佐地区の復興をアピールし、地域に元気をもたらすため、聖火リレーの招致に向けた取り組みが必要であるため。また、オリンピック・パラリンピックに向けて努力を続けているスポーツ選手と小中学生との交流機会を設けるため、事前キャンプ受け入れ等の取り組みが必要であるため。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>						○要 ○不要	
	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		事前キャンプの実施や、聖火リレーが我孫子を通ることが決まった場合、市民から募集したスポーツボランティア等の参画を検討している。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
環境に配慮して事業を進めているか？	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>				○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	0	40	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)				○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	2,104	92	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		4,19	<超過理由等>				○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費削減率(%)								○要 ○不要	
	4.19								○要 ○不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要	
	1.9		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100				○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2220), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.